

Hi there!
はいさい!
你好!

ニュージャージー州出身。
2024年8月1日国際交流員
(CIR)として浦添市役所
国際交流課に配属。

ゆくいみそ〜れ〜!
ジェイソンと
ひと息カフェトーク
~JASON's Cafe Talk~


Episode 3
smells yummy talk
and journey talk

原文・和訳
ジェイソン チェン
JASON CHENG

三大王籠まつりに出演しました!

ハイサイ
こちら市長室!

「ようどれ落書き事件」



浦添市長
松本 哲治

琉球オペラ「アオリヤエ」公演を楽しみに待っていた10月4日、耳を疑うような報が入った。それは、アオリヤエの舞台でもある国指定の史跡浦添城跡の一部にあたる浦添ようどれに落書きがされているという連絡だった。すぐに秘書課と共に、現場へと確認に向かった。

案内板の石柱側面、アーチ門の内側壁面、そして門をくぐると、ようどれの西室壁面の3か所に黒いスプレーによる落書きが見つかり、すぐさま発見者でもある「NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会」を訪ねて話を伺った。

10月3日の防犯カメラの映像には上半身裸の青年を含む3人組が映っており、犯行の様子が一部始終残されていた。スプレーを予め準備していた白屋堂々とした行為であり、畏敬の念もない犯行態度に怒りを通り越して悲しくなってしまった。その足で浦添警察署まで移動し、署長へ直接会うて徹底捜査を依頼したのであった。

「浦添ようどれ」は英祖王と並んで、尚寧王とその王妃アオリヤエが眠る神聖な王墓である。現場保存のために泣く泣く一時閉鎖に踏み切ったわけだが、多くの市民にとって誇りと自

慢の神聖な場所への落書きは決して許されるものではない。関係者の「自分の先祖のお墓に同じことをされたらどう思うか」との言葉に私たちの気持ちの全てが代弁されている。ところが10月6日に再び被害が発生する。恐らく同一人物だと思われるメンバーによって、今度は落書きを無理矢理こすって消そうとした形跡が確認されたのである。これも防犯カメラに映像が残っており、本当に呆れちゃった。警察関係者の努力のおかげで、現在、容疑者が逮捕され事件は収束へと向かっている。

しかし、今回の事件を通して、次の世代への教育や啓蒙がいかに肝心であるかを再認識させられた。琉球の歴史や伝統、史跡などは単に教科書や歴史本に書かれている史実として伝えるだけではなく、私たちウチナーンチュの誇りの拠り所として昇華させていかなければならない。ようどれへの落書きは私たちの心への落書きなのだから。



▲一時閉鎖時の様子

ウィンター・ブルー

読者の皆さん、ハッピー・ホリデー!あつという間に、2024年が終わりそうですね。昨年の今頃、私は大学の図書館にこもり、卒業論文や発表を仕上げるために徹夜をしていました。皆さんは昨年の12月、何をしていましたか?アメリカでは毎年、寒い時期に入ると「冬季うつ病」という病気が蔓延します。冬になるとだるく、疲れやすく、落ち込みやすくなるため「ウィンター・ブルー」とも呼ばれるようになりました。しかし、私は寒さを楽しみ、雪を愛し、クリスマスの雰囲気大切にしているため「ウィンター・ブルー」には決して屈しません。

沖縄に来たばかりの頃、防災がテーマの「やさしい日本語」に参加し、アメリカの自然災害について話しながら、大学1年の初冬の記録的吹雪を思い出しました。当時、トライステート・エリア(ニュージャージー、ニューヨーク、ペンシルベニアの三つの州の総称)の交通が麻痺し、飛行機が欠航になった旅客が近隣のホテルに殺到していました。渋滞の中をゆっくり進んで、深夜3時にやっと帰宅し、手先と足先に1000本の針が刺さっているかのような寒さを、温かいお風呂が解放してくれました。しかし、災害の厳しさを嘆くよりも、翌朝の雪で真っ白になった清らかな町の光景に心躍りました。

南米研修生の文化交流事業の通訳として同行した流れから、てだこまつりでエイサー演舞に参加することになりました。南米研修生や同僚、子どもたちと遅くまで練習し、自分の不器用さを痛感しながら、まつり当日、何千人の前で汗をかきながら練習の成果を披露し、高揚感と達成感を感じました。まだまだ未熟で、各曲の振付を完全に覚えていませんが、南米研修生たちの送別会で恥ずかしくないように頑張ります。楽しく元氣よく「ブルー」にならずに研修生たちを送りたいです。

Winter Blues

Happy Holidays, dear readers! It seems like this year is coming to a swift conclusion. Around this time last year, I likely sequestered in my university library, engaging in all-nighters to finalize my thesis and presentations. What were you occupied with last December? In the U.S., as winter descends, a condition known as "Winter Blues" reemerges annually. This affliction, often referred to as "Winter Depression," manifests as pervasive feelings of melancholy, sadness, and depression. However, I revel in the cold, cherish the snow, and delight in the festive Christmas ambiance, so I steadfastly resist succumbing to "the winter blues."

When I initially arrived in Okinawa, I participated in "Yasashii Nihongo's" disaster-preparedness themed seminars, where we exchanged narratives regarding natural disasters from our respective countries. I recollected the record-breaking blizzard that marked the inaugural winter of my freshman year in the Tri-State Area, which incapacitated transportation and inundated local hotels with stranded travelers from canceled flights. It took until 3 a.m. to navigate through the gridlock and finally return home, where I alleviated the excruciating sensation akin to a thousand needles piercing my digits with a warm shower. Yet, rather than lament the severity of the disaster, I rejoiced at the sight of the pristine, snow-laden town the following morning.

Consequent to escorting the South American exchange students as their interpreter for cultural exchanges, I found myself enlisted for the Tedako Festival Eisa performance. I rehearsed late into the night with South American exchange students, colleagues, and children, acutely aware of my clumsiness, and felt a great sense of exhilaration and accomplishment while performing before thousands at the Tedako Festival. Although I remain unrefined and haven't completely mastered the choreography, I am resolute in delivering a commendable performance at the farewell gathering for the South American exchange students. I wish to exuberantly bid farewell to the exchange students without succumbing to the "blues."

浦添市公式 Instagramにも投稿してるよ!

てだこキッズファースト宣言大使
てだこスタジオ

牧港在 お座りできるもん

内間在 仲良し姉妹!

港川在 お散歩大好き♡

田本 莉子 ちゃん(9か月) 永山 鈴 ちゃん(3歳) 芽奈 ちゃん(1歳) 照喜名 花 ちゃん(1歳)

写真募集中!

【募集対象】 市内在住の0~9歳のお子さん
【応募方法】 右記の二次元コードから①お子さんお名前②ふりがな③年齢または月齢④居住区⑤一言コメントと、画像データ(JPEG等)を添付し送信してください。
応募はこちら▲

●写真は、お子さんの顔全体が写っているもの(たて撮り推奨)
●これまでに掲載されていないお子さんを優先します。
●応募者多数の場合は、抽選の上、掲載します。掲載の可否については連絡いたしませんのでご了承ください。

簡単!健康!サツと作れる!

87品目

手軽でつるっとおいしい!
トマトとえのきのスープ

低脂質

材料(4人分)

- キャベツ4枚
- えのき1/2房
- 絹ごし豆腐1/8丁
- 鶏むね肉(皮なし)40g
- カットトマト缶大さじ2
- 春雨20g
- かつおだし4カップ(800ml)
- しょうゆ大さじ1/2
- 塩小さじ1/2
- こしょう少々

作り方

- ①キャベツは短冊切り、えのきは石づきを取ってほぐす。
- ②絹ごし豆腐、鶏むね肉(皮は除く)は1cm角に切る。
- ③鍋にかつおだしを入れてひと煮たちさせたら、キャベツ、えのき、鶏むね肉、トマトを加えてさらに煮込む。
- ④具材が煮えたら、春雨、豆腐を加える。
- ⑤春雨がやわらかくなったら、しょうゆ、塩、こしょうで味を整えて完成!

栄養成分表示(1人当たり)
エネルギー 46kcal/食塩相当量0.9g

うめ~しポイント

野菜やきのこ、肉、魚のだしが合わさった、うまみたっぷりのスープです。やさしい味なので朝ごはんにもおすすめです。

レシピ提供: 浦添共同調理場 瑞慶覧 響